

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月12日更新

事務事業名		人事管理事務		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健全	所属部	総務部	課長名	坂井 竹志
	施策	2	行政経営の推進・改革	所属課	総務課	担当者名	山田 襟香
	業務分野	5	職員の人材育成と効果的な組織運営	所属班	人事班	(内線)	1222
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11004	法令根拠 地方公務員法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	人事管理に関する事業職員の任免、人事異動等適正な人事管理を行うため。国では、平成18年4月実施の給与構造の見直しが行われ、本市でも同様に見直しを行った。
【業務の流れ】	・職員の任免に関すること ・職員の人事に関すること ・職員の給与に関すること ・職員の服務、賞罰、身分に関すること ・職員組合に関すること
【主な予算費目】	【款】 2 総務費 【項】 1 総務管理費 【目】 1 一般管理費 【節】 8 旅費 10 消耗品費 印刷製本費 1 2 委託料 18 負担金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

令和6年4月1日付けで175人(新規採用22人、再任用1人、任期付1人含む)の人事異動を行った。令和6年1月に発生した能登半島地震による災害派遣職員へ令和6年度も継続して5月末までの派遣旅費支給、時間外手当支給を行った。近年のカスタマーハラスメント問題に対応するため名札を氏のみ表記に変更するためのシステム改修を実施した。論文委託・面接・人事評価による採点で主幹級昇任試験を実施した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

令和7年4月1日現在 職員数364人
令和6年度末退職 定年4人・定年前3人・応募認定2人・再任用1人・自己都合2人・任期満了退職3人
令和7年4月1日採用 新採職員15人・再任用2人・派遣3人

③予算の主な増減の理由

派遣職員の赴任帰任対象者が減少したことによる旅費の減

成果指標

ア 適正な人事配置が行えた割合

(単位)

データ取得方法

→
イ
ウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	0	95	90	90	90	90	90	0
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	5		10				
	繰入金	千円							
一般財源	千円	7,139	8,483	9,257	12,555	8,150	8,150	8,150	8,150
(A) 事業費計	千円	7,144	8,483	9,267	12,555	8,150	8,150	8,150	8,150

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

特に問題もなく適正な人事管理が行えた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)